

まちづくりイベントの開催

# まちづくりシンポジウム 2015

～BRTを活かしたこれからのまちづくり～

主催：茨城県・日立市・茨城県都市計画協会

## ■まちづくりシンポジウム2015

人口減少・超高齢社会の到来により、これからは高齢者や子育て世代など誰もが安心して快適に生活できるまちづくりが求められています。こうした課題について、県民の皆様と一緒に考えていくことを目的に、平成27年11月28日（土曜日）、多賀市民会館において、「まちづくりシンポジウム2015」を開催いたしました。

まず、筑波大学の谷口守教授による基調講演を行い、続いて、まちづくりの分野で幅広く活躍されている方や、地元の日立市でまちづくりに取り組まれている方をパネリストに迎え、「BRTを活かしたこれからのまちづくり」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

当日は、県内各地から257名にご来場いただき、参加者からは「基調講演では海外の事例が大変興味深かった」、

「パネルディスカッションでは、様々な方の意見を聞いて勉強になった」等の感想が寄せられました。



ことが重要であるという解説もありました。



基調講演

## ○パネルディスカッション

「BRTを活かしたこれからのまちづくり」

コーディネーター

谷口 守 筑波大学教授

パネリスト

山田 稔 茨城大学教授

須田 昭 ひたちBRTサポーターズクラブ会長

山本 美穂 日立商工会議所女性起業家交流グループ  
みゅーずnet 会長

家次 晃 (株)日立製作所電力システム社  
日立事業所 総務部長

石川 昭 日立市都市建設部長

## ○基調講演「集約と連携のまちづくり」

講師 谷口 守 筑波大学教授

基調講演では、谷口守講師から、「コンパクトシティ」、「公共交通」について、海外の事例紹介も交えながら、解説がありました。

「コンパクトシティ」については、沿道から乗りやすい公共交通が軸としてあることが、望ましいコンパクトシティの条件であるという解説がありました。公共交通を整備するだけでなく、沿道の住民と協力したソフト整備も重要だというお話もありました。また、公共交通が赤字であっても、まち全体が黒字になるという



パネルディスカッションでは、BRTを活かしたまちづくりに必要なことについて、谷口コーディネーターと5名のパネリストに議論していただきました。

山田氏からは、「パートナーシップに参加している方も年齢層が固まっており、高齢化が一気に進むので、若い世代へのつながりが課題」、「公共交通計画について市民が議論できる場が必要」という指摘がありました。

須田氏からは、「サポーターズクラブが地域の意見・要望を聞いて運営していくことが重要で、今後できるであろう第2期区間のサポーターズクラブとも連携していくことが大切」という意見が出されました。

山本氏からは、「イベントの実施・地域のイベントとの

連携など、BRTを利用したいと思える魅力を発信することで、利用したいと思う方を増やすことが必要」という意見が出されました。

家次氏からは、「BRTの様々な魅力をみんなで議論し、示していくことが必要で、魅力のPRをすることも重要」という意見がありました。

石川氏からは、「ハードについては整備が進んでいくが、人のライフスタイルなど、ソフト面を変えていくことが課題」という意見が出されました。

また、まちづくりに多大な貢献があった団体等を表彰する「茨城県うるおいのあるまちづくり顕彰事業」の表彰式も併せて行われ、まちづくりグリーンリボン賞4件、まちづくりグッドサイン賞1件が表彰されました。

#### ○茨城県うるおいのあるまちづくり顕彰事業表彰式

##### まちづくりグリーンリボン賞 4件

###### ・土浦小学校校舎改築事業及び周辺整備事業

受賞者：土浦市，(株)横須賀満夫建築設計事務所，  
株木・山本特定建設工事共同企業体

###### ・結城見世蔵再生・改修事業

受賞者：結城市，(株)フケタ設計，(株)石島建設

###### ・空のえき「そ・ら・ら」整備事業

受賞者：小美玉市，(株)佐藤総合計画

###### ・菜の花エコネットワーク事業

受賞者：久慈川菜の花エコネットワーク推進会

##### まちづくりグッドサイン賞 1件

###### ・常総市メインエントランスサイン整備事業

受賞者：常総市，(株)匠建築研究室



パネルディスカッション



土浦小学校校舎改築事業及び周辺整備事業



結城見世蔵再生・改修事業



空のえき「そ・ら・ら」整備事業



菜の花エコネットワーク事業



常総市メインエントランスサイン整備事業



うるおいのあるまちづくり顕彰事業表彰式